

令和 7 年 8 月 2 9 日
事企連 2025-19

社会保険労務士の懲戒処分

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	社会保険労務士の懲戒処分について、厚生労働省年金局事業企画課長から通知がありましたのでお知らせします。
事務連絡の内容	令和 7 年 8 月 25 日付けで厚生労働省年金局事業企画課長から、「社会保険労務士の懲戒処分」に係る通知が発出されましたのでお知らせします。年金事務所等に名札が掲示されている場合は、処分内容に基づき名札を除去してください。 なお、当該処分を受けた者から懲戒処分期間中に年金事務所等に書類の提出があった場合は、社会保険労務士法違反となるため東海北陸厚生局に連絡してください。
別添資料	【別添】社会保険労務士の懲戒処分について（令和 7 年 8 月 25 日年管企発 0825 第 4 号）

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象 ☐

年管企発 0825 第 4 号
令和 7 年 8 月 25 日

日本年金機構事業企画部長 殿

厚生労働省年金局事業企画課長
（公 印 省 略）

社会保険労務士の懲戒処分について

下記 1 の者については、社会保険労務士法（昭和 43 年法律第 89 号）第 25 条の 2 第 1 項及び第 25 条の 3 の規定に基づき、懲戒処分が行われたので通知する。

については、下記の事項にご留意願いたい。

また、当該処分については、東海北陸厚生局にも通知する旨申し添える。

記

1 懲戒処分を受けた者及び処分の対象となった行為

氏 名 岩井 均（いわい ひとし）

登録番号 第 16850003 号

処分の対象となった行為 社会保険労務士法第 25 条の 2 第 1 項に定める懲戒処分事由の「故意に、真正の事実と反して申請書等の作成を行ったとき」、及び同法第 25 条の 3 に定める懲戒処分事由の「社会保険労務士たるにふさわしくない重大な非行があったとき」に該当する行為

2 処分の内容

令和 7 年 8 月 7 日から 1 年の社会保険労務士の業務の停止の処分

3 留意事項

- （1）当該処分を受けた者は、令和 7 年 8 月 7 日から 1 年は社会保険労務士として業務を行うことができないこと。
- （2）当該処分を受けた者が、処分期間中に日本年金機構の年金事務所等に書類を提出する等の社会保険労務士業務を行った場合は、社会保険労務士法第 32 条の 2 第 1 項第 4 号違反となるため、証拠物件（提出代行印が押印された書類等）を確保した当該年金事務所等は東海北陸厚生局へ連絡することとなっている。
- （3）日本年金機構の年金事務所に当該処分を受けた者の社会保険労務士名札が掲示されている場合、懲戒処分期間中は当該名札が除去されるものとされていること。
- （4）懲戒処分事案については、官報に公告されるとともに、今後厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/shahorou-tyoukai/index.html>）においても公表されること。